

—えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)—

2021「ふるさと江別塾」

受講料無料
オンライン配信

市民の皆さんの高い知的欲求に応えることができるよう、市と市内四大学の連携協力により、大学が保有する専門的知識と人材を活用して、充実した学習機会場の場として、「ふるさと江別塾」を開講します。例年各大学を会場に開催していましたが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画をオンラインで配信します。
※えべつ市民カレッジ・道民カレッジは、1講義ごとに1単位認定します。

▼申込みフォーム



<申込み方法>

9月17日(金)までに申し込みフォームからお申込みください。
オンラインでの視聴が難しい方には講義の動画を収録したDVDを貸し出しますので、教育委員会生涯学習課(011-381-1062)へお問い合わせください。

<講義内容>

酪農学園大学



講義
1

健康情報のエビデンスについて

農食環境学群 食と健康学類 講師 木村 宣哉

【講義内容】医療の専門家が皆さんにお伝えしている「塩分の摂りすぎは血圧に悪い」といったような健康情報は、多くの研究から得られた科学的根拠(エビデンス)のあるものです。最近ではネット上で簡単に論文を読むことができるようになり、エビデンスに触れる機会も容易になりました。今回の講座では、エビデンスとはどのようなものなのか、そして医療の専門家は研究や論文の結果をどのように判断・解釈しているのかについてお話しします。

【プロフィール】2007年、函館短期大学卒業後、栄養士として事業所の給食業務などに従事。その後、函館看護学校で看護師免許を取得し、北海道大学で保健師免許を取得。2015年、北海道大学大学院保健科学院を修了後、JR北海道で産業保健師として従業員の健康管理などに従事。2018年に助教として酪農学園大学公衆栄養学研究室に着任し、2020年より現職。

講義
2

食の抗酸化パワーの魅力

農食環境学群 食と健康学類 教授 大谷 克城

【講義内容】北海道の広大な大地では多くの農作物が栽培され、冷涼な気候を利用した特徴のある希少な作物が生産されています。近年、健康志向が高まり、おいしさだけでなく、機能的性が求められるようになってきました。これまで天然素材や農作物、加工品を中心に抗酸化力に着目し、生産者や企業と協力して、分析、研究を進めてきました。江別の農作物も含めて、食の抗酸化パワーの魅力について紹介したいと思います。

【プロフィール】大阪府出身。1991年摂南大学薬学部薬学科卒業。1993年神戸大学大学院農学研究科植物防疫学専攻修士課程修了。1993年扶桑薬品工業株式会社研究開発センター 研究員。2003年旭川医科大学にて博士(医学)取得。2004年旭川医科大学医学部微生物学講座 助教。2011年同講師。2013年同准教授。2018年酪農学園大学農食環境学群食と健康学類 教授(臨床栄養学研究室)。専門分野:免疫学、栄養学



北翔大学

講義
1

オペラ『ジャンニ・スキッキ』の魅力～ダンテ没後700年を迎えて～①前半

講義
2

オペラ『ジャンニ・スキッキ』の魅力～ダンテ没後700年を迎えて～②後半

教育文化学部 講師 岡元 敦司

【講義内容】2021年はダンテ・アリギエーリ没後700年にあたります。今もなおイタリア語の父として多くの人から愛されるダンテとその生き立ち、そして彼が生涯愛し続けたベアトリーチェとの再会を描いた長編叙事詩『神曲』、その『神曲』のエピソードを用いてイタリア人オペラ作曲家プッチーニが作った喜劇『ジャンニ・スキッキ』の魅力に迫ります。簡単なイタリア語講座も交えてオペラを鑑賞しながらイタリアへ小旅行したく思います。(前半・後半のみでも内容が分かるように講座を進めます)

【プロフィール】国立音楽大学首席卒業、東京芸術大学大学院修士課程修了、皇居内桃華堂御前演奏会出演。矢田部賞、NTT ドコモ賞、F・アルパネーゼ国際声楽コンクール特別好演賞、ベーゼンドルファー国際音楽コンクール第2位、第22回ハイメスコンクール第1位。第2回座間日本歌曲コンクール第2位、平成23年文化庁新進芸術家海外研修生、北海道二期会会員、北海道教育大学、札幌大谷大学各非常勤講師、北翔大学教育文化学部教育学科音楽コース専任講師。



札幌学院大学

講義
1

AIと人権

法学部 教授 石井 和平

【講義内容】日常社会の様々な領域でAIを活用する事例が増えてきました。AIによって、私たちのビジネスや生活が便利になってきたことは確かですが、いろいろな問題も生じ始めています。AIによる個人のプロファイリング（過去の行動記録や個人情報进行分析し、その行動を推測すること）や、それによる差別や社会的排除は、日本国憲法13条のいう個人の尊重や同14条でいう平等原則など憲法で守られてきた人権に抵触する恐れがあります。本講演では、AIの目覚ましい発展と、その社会的影響について特に人権の視点から考えていく予定です。



【プロフィール】愛知県出身。学習院大学法学部卒業。小樽商科大学大学院商学研究科博士課程修了。博士(商学)。専門は、社会学的法学(sociological jurisprudence)および市政学(civics)。現在、エベネザー・ハウードの田園都市構想をベースに「アソシエーションとしてのコミュニティ形成」の理論を構築中。北海道自治体学会運営委員。

講義
2

「まさか」の災害に見舞われたとき

心理学部 教授 菊池 浩光

【講義内容】「明日はまたくるしそれも同じようにやってくる」という気持ちは漠然としていても、実は信念のように根強いものです。私たちの人生は無数の出来事や出会いで作られていきますが、その中には、事故や災害に代表されるように、想像さえしていなかった「まさか」の事態が、まるで襲ってくるようにやってくる場合があります。災害に見舞われたとき、人の心身はどのようになってどのように乗り越えていくことができるか、それを一緒に考えていきたいと思えます。



【プロフィール】愛媛県出身。1982年北海道大学教育学部を卒業後、室蘭の日鋼記念病院医学情報部に勤務。1986年同部部長。1995年臨床心理科科長。2008年に退職し、以降は、クリニックの臨床心理士、大学や専門学校の非常勤講師、札幌市スクールカウンセラーなどを歴任し、2019年より札幌学院大学心理学部に勤務。専門領域は、医療場面における心理臨床と、事故・災害時における心のケアで、総務省消防庁メンタル・サポートチームの一員でもある。学位は教育学博士(北海道大学)。公認心理師、臨床心理士の資格を有する。

北海道情報大学

講義
1

企業と社会の新たな関係～変わりゆく企業の役割～

経営情報学部 先端経営学科 教授 福沢 康弘

【講義内容】SDGsに代表されるように、現代の企業は自社の利益追求や業績向上のみならず、さまざまな社会課題の解決に貢献することが求められています。本講座では、変わりつつある企業と社会の関係について考えることを目的に、「社会的連帯経済」の概念等を紹介しながら、社会課題の解決を経営戦略に取り入れることの重要性を学んでいきます。



【プロフィール】1990年京都大学文学部卒業。2016年北海学園大学大学院経済学研究科修了。博士(経済学)。北海道新聞社勤務、会社経営を経て2016年より北海道情報大学経営情報学部。2019年より現職。経営情報学部先端経営学科 学科長。北海道情報大学地域連携・産学連携センター センター長。

講義
2

私たちはどのように購入する商品を選んでいるのか

経営情報学部 先端経営学科 准教授 遠藤 雄一

【講義内容】私たちは常に「より良い商品をお得に買いたい」と思っています。昨今はインターネットの利用で(嘘の情報に騙されなければ)、これまでよりも良いものを選択できると思っています。それは本当でしょうか？これまでの消費者行動研究をもとに、私たちの商品の選択のしかたを考えてみます。消費者の方は自分の商品選択を、自営業の方はお客様のことを考えてみましょう。



【プロフィール】道南七飯町出身。1987年からソフトウェア・コンサルタント株式会社、北海道情報専門学校に務める。2007年北海学園大学大学院経営学研究科博士(後期)課程修了、博士(経営学)取得。2008年から北海道情報大学経営情報学部先端経営学科に着任。研究領域は消費者行動、マーケティング・リサーチ。日本経営学会、日本商業学会、日本マーケティング学会、日本消費者行動研究学会、日本地域ビジネス学会。江別市地域交通活性化協議会委員、森町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委員会の委員長を務める。

<主催>

江別市・江別市教育委員会

お問合せは江別市教育委員会生涯学習課(江別市高砂町24-6)

TEL 381-1062 FAX 382-3434

e-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)

2021「ふるさと江別塾」

